



2021 年（令和 3 年）4 月 27 日

国立研究開発法人

宇宙航空研究開発機構

小惑星探査機「はやぶさ 2」帰還カプセル展示の協力団体公募について （募集要項）

2020 年 12 月 6 日、小惑星探査機「はやぶさ 2」は、打上げから 6 年にわたる宇宙の旅を経て、小惑星リュウグウ由来のサンプルが入っていることが期待されていた地球帰還カプセルを豪州の砂漠に着陸させました。着陸からわずか 57 時間後、カプセルは相模原のキュレーション設備に到着。汚染が無い環境での慎重な開封作業の結果、「はやぶさ 2」がリュウグウ由来のサンプルを 5.4g 採取していたことを確認しました。この貴重なサンプルの分析から、地球が生命惑星となったプロセスの解明に向けて、現在作業を進めております。

このような価値の高いサンプルをもたらした「はやぶさ 2」の成功を象徴する帰還カプセルを、多くの方々にご覧いただく機会を設けたく、多くの国民の皆さん、特に若い世代に、宇宙の謎を探究すること、科学や技術を追求すること、さらには、チームワークで挑戦することの楽しみを実感していただくための帰還カプセル展示に、ご協力いただける団体を募集いたします。

なお、展示にあたっては、新型コロナの感染症対策を徹底して実施いただきますようお願いいたします。感染状況によっては貸出・展示の実施を見直す可能性があることをご了承いただきますよう、お願いいたします。

【応募要領】

(1)募集期間：2021 年 4 月 27 日(火)～ 5 月 21 日(金)

※今回の募集対象は、2021 年 8 月上旬より 2022 年 3 月下旬の期間内において展示品の搬出入・展示が可能な団体・法人とさせていただきます。

(2)応募方法：「はやぶさ 2」帰還カプセル等展示物貸与申請書【別紙 C、D】に必要事項をご記入の上、会場見取り図、貴団体/貴法人の案内、概要書と一緒に下記のお申し込み先に E-mail にてお送りください。

〈お申し込み先〉

〒252-5210 相模原市中央区由野台 3-1-1

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)

宇宙科学研究所 広報「はやぶさ 2」帰還カプセル展示係

E-mail: HY2-CPSL-TENJI@ml.jaxa.jp

(3)選考基準：選考にあたっては、

(a)展示・貸与・輸送、新型コロナ感染対策等に係る諸条件が確実に満たされること

(b)地域や都道府県のバランス
(c)展示施設の立地・種類・規模
(d)展示がもたらす地域への効果や次世代への科学技術教育的側面への配慮
という要素を総合的に考慮させていただきます。

(4)選考結果：2021年6月中頃にご記入いただいたメールアドレスに通知いたします。

※展示概要等を精査の上、ご応募いただいた全ての団体様宛てに選考結果を通知いたします。なお、選考理由等に関する個別のお問い合わせには応じかねますので、予めご了承ください。

(5)貸与可能な展示物：【別紙B】ご参照

【Ⅰ】「はやぶさ2」帰還カプセル等(5点)基本セット

- ① インストルメントモジュール
- ② 搭載電子機器部
- ③ パラシュート
- ④ 背面ヒートシールド
- ⑤ 前面ヒートシールド(レプリカ ※)

※ 前面ヒートシールドは研究対象のため、輸送等での影響を避けるためレプリカを展示貸与とさせていただきます。ご了承ください。

【Ⅱ】基本セット付属品 * 帰還カプセルと一緒に巡回します。

【「はやぶさ2」に関する模型】

- ターゲットマーカのフィルム
- 小惑星リュウグウ3D形状モデル(1/4500)
- サンプルコンテナ輸送BOX
- インストルメントモジュール輸送箱

(6)貸与期間：以下の期間のうち、連続5日間(金曜日～火曜日)を展示可能期間とし、その前後は展示物の輸送・展示準備に要する期間とする。

①2021年8月4日(水)～2021年9月29日(水)

②2021年10月6日(水)～2021年12月1日(水)

③2022年1月12日(水)～2022年3月23日(水)

詳細は【別紙A】④をご参照ください。貸与期間は第3候補までお選びいただけます。

(7)貸与対象団体等：国内の公益団体・法人(科学館、博物館、地方公共団体など)で、宇宙活動や科学技術の理解増進を目的に広く一般向けの活動や展示企画を行っている団体・法人

※展示は公益目的に限るものとし、営利目的の展示は対象外とさせていただきます。

(8)展示等に係る経費：会場賃貸料(発生する場合)、展示物輸送、据え付け・取り外し及び警備等に必要な全ての経費は、展示の実施者負担とさせていただきます。

なお、個別事由が生じる場合には、必要に応じて詳細調整をさせていただきますので、予めご了承ください。

- (9)展示・貸与・輸送等に係る諸条件について:本展示開催時の新型コロナウイルス感染症対策については、マスクの着用、検温、手指消毒、入場者の制限等、主催者が責任をもって実施する。
「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」
(<https://www.j-muse.or.jp/02program/pdf/200918setgaid3.pdf>)
および各自治体の感染症対策を遵守のこと。
貸与される帰還カプセルは、世界で唯一のものであり、国民の貴重な財産であることを十分にご認識いただき、別途 JAXA が定める展示物の貸与条件に従った取り扱いをお願いいたします。
条件の具体的な内容については、『「はやぶさ2」帰還カプセル展示物貸与条件【別紙 A】』(『「はやぶさ2」帰還カプセル等展示物取扱要領【別紙 B】』を含みます。)をご覧ください。
- (10)留意事項 : 選定された団体については、「はやぶさ2」帰還カプセル等展示物貸与に関する同意書【別紙 E】をご提出いただきます。
なお、個別事由が生じる場合には、必要に応じて詳細調整をさせていただきますので、予めご了承ください。
- (11)展示実施結果等の報告:展示実施結果については、全体概要、展示物管理状況、来場者数等、JAXA が求める事項について、ご報告をいただきます。
- (12)問い合わせ先 : JAXA 宇宙科学研究所広報
「はやぶさ2」帰還カプセル展示係
E-mail:HY2-CPSL-TENJI@ml.jaxa.jp
TEL:070-1170-2731

【別紙 A】

「はやぶさ 2」帰還カプセル等展示物貸与条件

「はやぶさ 2」帰還カプセルその他の宇宙航空研究開発機構(JAXA)が貸与する物(以下「本展示物」と総称します。)の展示(以下「本展示」といいます。)を実施するため、JAXA から本展示物の貸与(以下「本貸与」といいます。)を受けた団体・法人(以下「本展示実施者」といいます。)は、「はやぶさ 2」帰還カプセルが世界で唯一のカプセルであり、国民の貴重な財産であることを十分ご認識の上、貸与期間中は、以下の貸与条件を了解かつ遵守し、本展示物及び本展示の実施に支障が生じないよう細心の注意を払っていただくようお願いいたします。

- ① 本展示は、教育や学術・科学技術の振興など公益目的に限るものとし、当該目的以外での本展示物の利用はご遠慮ください。
- ② 入場者から本展示についての入場料等の対価の徴収はしないものとします。(展示会場において通常徴収している入場料等がある場合は、本展示のためにこれに加算することとはご遠慮下さい。)
- ③ JAXA が指定する貸与期間(以下「本貸与期間」といいます。)に限り、無償で本展示物の貸与を受けることができるものとし、本貸与期間の延長は一切認められません。なお、本展示物の引渡し及び返還は、JAXA が指定する場所にて行うものとします。
- ④ 貸与期間は 1 会場につき基本 1 週間とし、そのうち展示可能期間は以下のように連続する 5 日間(金曜日から火曜日)とする。その前後の水、木曜日は輸送・準備にあてる。

	展示可能期間		展示可能期間
1	2021 年 8 月 6 日(金)～8 月 10 日(火)	14	2021 年 11 月 12 日(金)～11 月 16 日(火)
2	2021 年 8 月 13 日(金)～8 月 17 日(火)	15	2021 年 11 月 19 日(金)～11 月 23 日(火)
3	2021 年 8 月 20 日(金)～8 月 24 日(火)	16	2021 年 11 月 26 日(金)～11 月 30 日(火)
4	2021 年 8 月 27 日(金)～8 月 31 日(火)	17	2022 年 1 月 14 日(金)～1 月 18 日(火)
5	2021 年 9 月 3 日(金)～9 月 7 日(火)	18	2022 年 1 月 21 日(金)～1 月 25 日(火)
6	2021 年 9 月 10 日(金)～9 月 14 日(火)	19	2022 年 1 月 28 日(金)～2 月 1 日(火)
7	2021 年 9 月 17 日(金)～9 月 21 日(火)	20	2022 年 2 月 4 日(金)～2 月 8 日(火)
8	2021 年 9 月 24 日(金)～9 月 28 日(火)	21	2022 年 2 月 11 日(金)～2 月 15 日(火)
9	2021 年 10 月 8 日(金)～10 月 12 日(火)	22	2022 年 2 月 18 日(金)～2 月 22 日(火)
10	2021 年 10 月 15 日(金)～10 月 19 日(火)	23	2022 年 2 月 25 日(金)～3 月 2 日(火)
11	2021 年 10 月 22 日(金)～10 月 26 日(火)	24	2022 年 3 月 4 日(金)～3 月 8 日(火)
12	2021 年 10 月 29 日(金)～11 月 2 日(火)	25	2022 年 3 月 11 日(金)～3 月 15 日(火)
13	2021 年 11 月 5 日(金)～11 月 9 日(火)	26	2022 年 3 月 18 日(金)～3 月 22 日(火)

- ⑤ 本展示物の往復の輸送、設営・撤収、維持・管理に要する費用その他本展示に係る一切の費用(保険料を含みます。)は、本展示実施者にてご負担いただくものとします。
- ⑥ 本展示物の輸送(梱包から展示までの一連の行為を含む。)には、JAXA が別途指定する業者を使用するものとします。
- ⑦ 本展示は、別に掲げる「はやぶさ 2」帰還カプセル等展示物取扱要領【別紙 B】に定めるところに従うものとします。本展示物の加工・改造、JAXA のイメージを損なう展示等は一切行わないものとします。
- ⑧ JAXA は、本展示の準備及び実施状況について、随時実地検査を行い、必要な報告を求めることができるものとします。また、JAXA が本展示物の維持・管理方法、展示方法、その他本展示に関する事項について必要な指示を行った場合には、これに従うものとします。

- ⑨ 本展示及び本展示物が JAXA の協力又は提供である旨を展示会場及び本展示の告知ポスター・チラシ等において、表示するものとします(表示例「協力:宇宙航空研究開発機構(JAXA)」、「提供:宇宙航空研究開発機構(JAXA)」)。当該表示を含め、本展示において、宇宙航空研究開発機構又は JAXA の名称・ロゴを使用する場合には、予め原稿等で使用方法を具体的に示し、JAXA の事前承認を得るものとします。
- ⑩ 本展示物の写真等の撮影は、「はやぶさ2帰還カプセル展示物取扱要領【別紙B】」に記載されている限りで行うものとします。本展示の告知ポスター・チラシ等を作成する場合には、JAXA が広報用に公開している画像・映像・ロゴ等を利用することができますが、その場合には、別途、JAXA が定める使用条件(「JAXA デジタルアーカイブスご利用案内」(ホームページ URL http://jda.jaxa.jp/jda/service_j.html))を遵守の上、手続き等を行うものとします。
- ⑪ 本展示物(これらの写真や映像等を含みます。)を商業目的で使用するを一切禁止します。
- ⑫ 本展示においては、本展示物に毀損・滅失・盗難等(以下「毀損等」といいます。)が生じないように、細心の注意を払って本展示物を取り扱うものとします。万が一、本展示物に毀損等が生じた場合には、直ちに JAXA にその詳細な内容を通知するものとし、また当該毀損等が天災・火災・盗難等による場合、JAXA の指示に従い官公署の証明書をあわせ提出するものとします。当該毀損等については、JAXA の求めに応じ、その損害を賠償し、及び/又は、修理修復・代替品の提供等をするものとします。また、当該毀損等に係る損害を補填するため、適切な内容の保険を付保するものとします(但し、フライト品は保険対象から除外することができるものとします。))。
- ⑬ 本展示に関連して、(i)第三者に損害を与えた場合、又は、(ii)第三者から苦情・クレームが寄せられ、その他第三者との間に紛争が生じた場合、すべて本展示実施者の責任と費用で解決するものとし、JAXA には何ら迷惑を及ぼさないものとします。
- ⑭ 本展示実施者がこの貸与条件に違反した場合、その他本展示を継続することに重大な支障があると認められた場合は、本貸与は解除され、本展示物を返還するものとします。
- ⑮ JAXA が本展示物を緊急に使用する必要が生じた場合、その他やむを得ない事由が生じた場合は、(i)本展示物の全部又は一部が変更され又は本貸与を解除される場合があること、及び、(ii)本貸与期間中であっても、本展示物の全部又は一部を返還していただく場合があることを予めご了解願います。⑬及び⑭の場合、JAXA は、本展示実施者に損害が生じて責任を負うものではありません。
- ⑯ 本展示物の転貸、譲渡又は本展示物に担保権その他の負担を設定すること、及び、本貸与に係る権利・義務を JAXA の事前承諾なく第三者に移転することは一切禁止します。
- ⑰ 本貸与に関し、この貸与条件に定めのない事項については、本貸与の趣旨にのっとり、JAXA と本展示実施者が誠実に協議の上定めるものとします。なお、本貸与に関する両者間の一切の紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とするものとします。
- ⑱ 本展示開催時の新型コロナウイルス感染症対策については、マスクの着用、検温、手指消毒、入場者の制限等、主催者が責任をもって実施する。
「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」
(<https://www.j-muse.or.jp/02program/pdf/200918setgaid3.pdf>) および各自治体の感染症対策を遵守のこと。

以上

【別紙 B】

「はやぶさ 2」帰還カプセル等展示物取扱要領

※展示物の状態及び研究解析上の要求に基づき、以下に示す取扱要領の諸条件については、予告なく変更となる場合がございます。予めご了承ください。

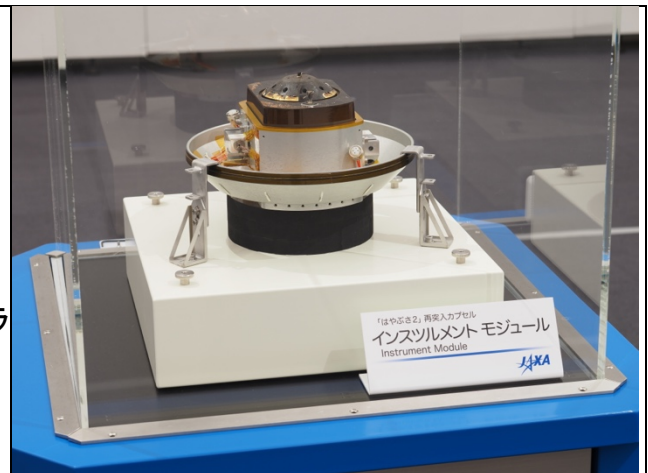
1. 展示物【I】（基本セット）の内容

（1）基本セット

展示物基本セットとその諸元は以下の通りです。（◆）は宇宙から帰還したフライト品

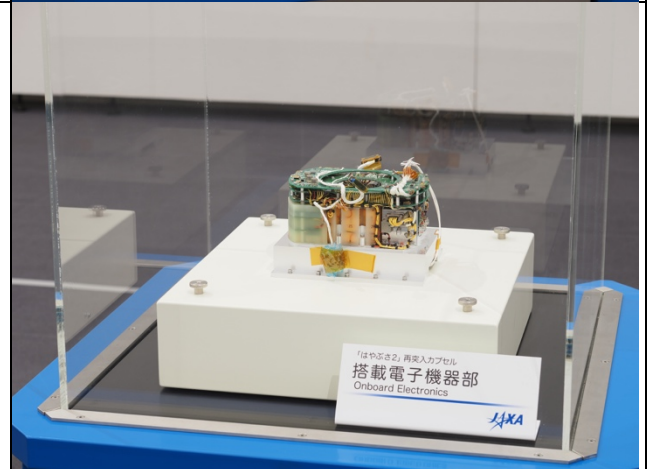
① インストルメントモジュール(◆)

カプセル本体部分。リュウグウサンプルを入れておくため円筒状のサンプルコンテナ、ビーコンを発信するアンテナ、パラシュート等が収められている



② 搭載電子機器部(◆)

地球からの指令を受け取るなど、様々な役割を果たすカプセルの心臓部。着地時の衝撃に耐えるよう補強されている。



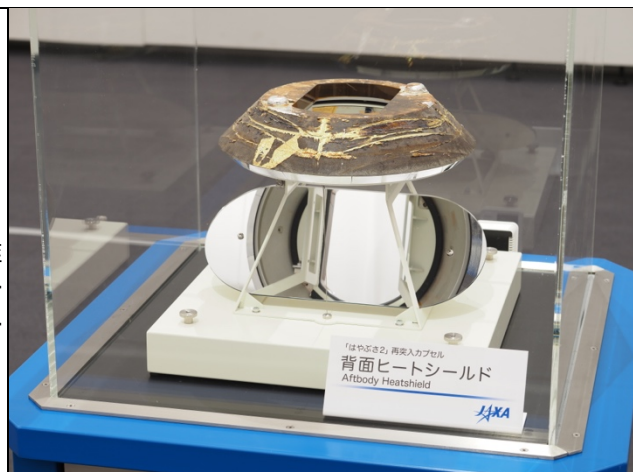
③ パラシュート(◆)

強く軽いポリエステル製の十字形のパラシュート。予定り上空約5kmで開き、十数分かけて着地した。



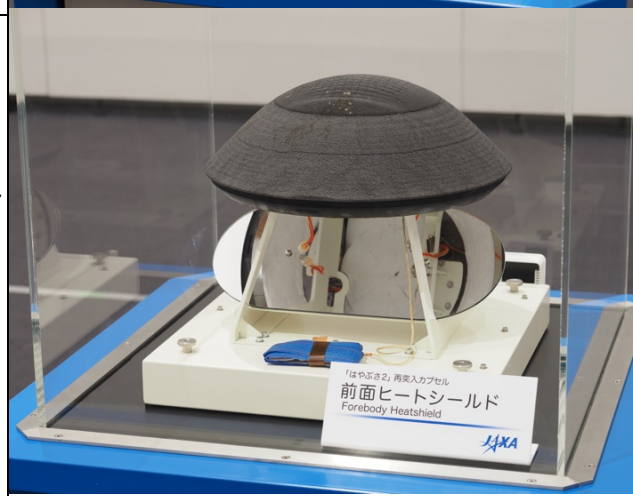
④ 背面ヒートシールド(◆)

カプセルの進行方向反対側を守っていた。前面ヒートシールドと同じく降下中に分離された。背面ヒートシールドはパラシュートカバーと一体となっており、パラシュートを引き出す役割も果たした。



⑤ 前面ヒートシールドの【レプリカ】

大気圏突入時の過酷な空力加熱にさらされており炭化層が露出している。フライト品は研究解析に資する必要があるため、本展示ではレプリカとなる



※研究解析の進捗状況等により、展示品が変更される場合もございます。

※専用展示ケースも合わせて貸与いたします。

専用展示ケース、輸送ケースのサイズ等につきましては、下記をご参照ください。

(参考1)展示ケース(※1)の寸法

- | | |
|------|--------------------------------------|
| ①②④⑤ | : 幅 824mm × 奥行 824mm × 高さ 1597.5mm |
| ③ | : 幅 1750mm × 奥行 824 mm × 高さ 1297.5mm |

(参考2)展示ケースの重量

- | | |
|------|-----------|
| ①②④⑤ | : 約 100kg |
| ③ | : 約 110kg |

(参考3)輸送ケース(※2)の寸法

- | | |
|------|--|
| ①②④⑤ | : 幅 1000mm × 奥行 900mm × 高さ 1850mm |
| ③ | : 幅 1860mm × 奥行 1000mm × 高さ 1615mm(※3) |

(参考4)輸送ケースの重量

- | | |
|------|-----------|
| ①②④⑤ | : 約 80kg |
| ③ | : 約 100kg |

2. 展示方法について

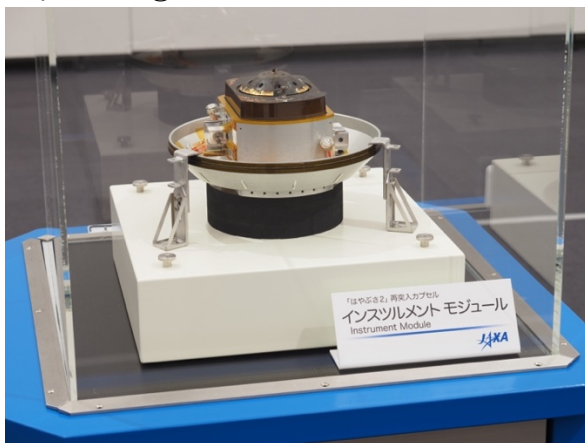
(1) 共通条件

展示物の基本セット①～⑤の展示状態管理・条件は以下の通りです。

1. 基本セット①～④を扱うにあたっては、世界で唯一のものであり、国民の貴重な財産であることを十分に認識のうえおこなうこと。
2. 基本セット①～⑤を展示する場所は屋内とし、24 時間の空調管理の下、設営及び展示時共に常温に保つこと（28℃以下が望ましい。）
3. 基本セット①～⑤の状態管理として、展示時間中は定期的に温室度管理を行うこと。
4. 基本セット①～⑤の紫外線による劣化を防ぐため、直射日光を避け展示すること。
5. 毎日のメンテナンスとしてアースの確認（夜はコンセントから外す）、水（もしくは薄めた中性洗剤）を含ませた布をしっかりと絞ってから拭きとりを行うこと。（ケースの角に触らないよう、また、アルコールの使用は不可とする。）
6. 展示ケースと来場者の間は、間隔を 1.5m 以上（来場者が展示ケースに触れることのないよう十分な間隔を維持できる距離）をとり、ロープ等で結界を設けること。
7. 見学来場者による展示品の撮影は一切禁止とする。但し、主催者の業務記録上必要な範囲及び見学の様子を取材する報道機関の撮影に写り込む程度に限り可能とする。

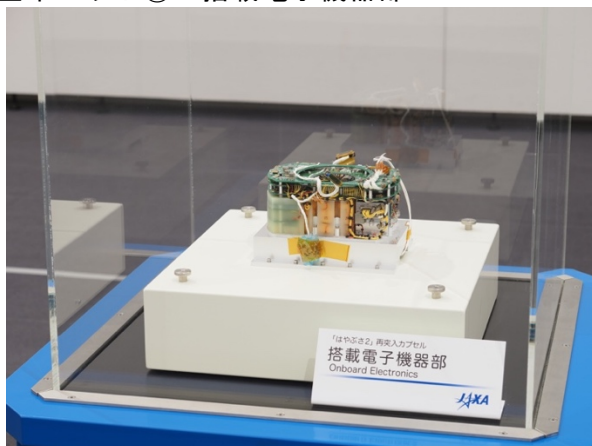
(2) 個別条件

基本セット①：インストルメントモジュール



1. 展示ケース内に湿度計を設置し、ケース内の湿度は常に 70%以下とすること。基準を上回った場合には、展示室の空調設定の変更を行い、湿度 70%以下とすること。

基本セット②：搭載電子機器部



1. 帯電を防ぐため、付属のアース付プラグを利用すること。アース付コンセントがある場合は付属のプラグを使用し、アース付コンセントがない場合は一般電気機器同様のアースを

取ること。ただし、夜間は外すこと。

2. 雷に関する予報や注意報が発令された場合は誘導雷を避けるためアースを抜くこと。
3. 展示ケース内に設置された湿度計にて、ケース内の湿度を常に 70%以下に管理すること。
基準を上回った場合には、展示室の空調設定の変更を行い、湿度 70%以下とすること。
4. 共通条件 7. 但書きに定める場合においては、当該製品に製造メーカーの知的財産が含まれることから、構造が詳細に把握できるような撮影は禁止させること。

基本セット③：パラシュート



1. 展示ケース下部の展示台内に乾燥剤を設置すること。基本セット①および②に設置された湿度計が 70%以上となった場合には、展示室の空調設定の変更を行うこと。

3. 警備条件について

展示物の警備条件については下記の通りです。

1. 原則として、展示会場に精通した警備業者を利用すること（日頃から会場の警備を行っている業者が望ましい。）。
2. 原則として、24 時間の警備体制とすること（夜間はカメラ監視やセキュリティシステムの対応も可）。
3. 展示期間中は、展示物に来場者がアクセスしないよう、また展示物の盗難や破壊に遭わぬよう、展示ケース付近に警備員を配置し警備に当たること。
4. 展示閉会後及び夜間は施錠等により外部から展示物に対するアクセスを排除し、その状態を監視し、何かあった場合には即座に対応すること。

4. 輸送条件について

展示物の輸送については JAXA が選定した業者をご利用いただきます。

輸送条件については下記の通りです。

1. 物品確認のため原則として主催者は入庫及び出庫時の立ち会いをすること。
2. JAXA 職員が立ち会ふ必要がある場合の交通費等の費用については主催者側の負担とする。
3. 展示物は壊れやすく研究対象かつ希少価値のあるものであるため、善良なる管理者の注意義務をもって、損傷、磨耗、欠損するリスクを最小限にとどめるよう輸送（梱包から展示するまでの一連の行為を含む。）を実施すること。
4. 展示物の輸送にあっては、振動対策としてエアサス車を利用すること。
5. 展示物の輸送にあっては、振動対策として低速走行での輸送を行うこと。
6. 展示物の移設にあたっては、振動を最小限におさえるため床養生を行うこと。
7. 展示ケースを専用の輸送ケースに収める際は振動を最小限におさえるためスロープ等を制

作・利用すること。

8. 輸送後には各展示ケースと（③を除く）基本セットを固定するネジの増し締め作業を行うこと。
9. 展示物を展示ケースに収める際には、展示物を素手で触らぬようゴム手袋（パウダー付き不可）等を利用し、善良なる管理者の注意義務を払って設置すること。

以上

【Ⅱ】基本セット付属品 * 帰還カプセルと一緒に巡回します。

【「はやぶさ 2」に関する模型】

- ターゲットマーカのフィルム
- 小惑星リュウグウ 3D 形状モデル (1/4500)
- サンプルコンテナ輸送 BOX
- インstrument モジュール輸送箱

☆ 他にも貸し出し可能な展示品がございます。下記からお申し込みください
(輸送費は別途かかります。)

https://www.jaxa.jp/projects/pr/model/index_j.html

☆ JAXA 外からの貸し出し品として

「はやぶさ 2」実物大模型

下記に直接ご連絡ください。

お問い合わせ先：特定非営利活動法人ギガスター

E-mail アドレス：info@gigastar.jp

【画像・映像・パネルデータなど】URL からダウンロードして会場で投影等、ご自由にお使いください。

先行して展示会が開催された相模原市立博物館/国立科学博物館では、以下の映像・画像が使用されました。

- オーストラリアでのカプセル回収の様子 (動画/約 1 分)
<https://youtu.be/u43KTIf4iKk>
- 「はやぶさ 2」ミッションの軌跡 展示パネル
https://www.isas.jaxa.jp/topics/files/20210312_1.pdf
- 「はやぶさ 2」の開発、打上げから地球帰還直前までの軌跡 “Play Back HAYABUSA2”
https://www.isas.jaxa.jp/topics/files/20210312_2a.pdf

さらに充実した内容をご希望の場合は、以下の URL から、ダウンロードできます。

- 帰還カプセル解説動画 (動画/約 10 分)
<https://youtu.be/8ivasAJujig>
- はやぶさ 2 プロジェクト ギャラリー
<https://www.hayabusa2.jaxa.jp/galleries/>
- ISAS ギャラリー はやぶさ 2
<https://isas-gallery.jp/tag/hayabusa2>
- JAXA デジタルアーカイブス 小惑星探査機「はやぶさ 2」
http://jda.jaxa.jp/category_p.php?lang=j&page=&category1=256&category2=306&category3=313

* 動画に関して、今回は YouTube にて内容をご確認ください。開催が決定した際には、個別に改めてダウンロード URL をお知らせいたします。

* 将来計画を紹介するパネルは、随時提供させていただく予定です。

【別紙 C】

年 月 日

「はやぶさ2」帰還カプセル等展示物貸与申請書

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 御中

(申請者)

名 称:

住 所:

代表者名:

取扱責任者名:

電話番号:

E-mail アドレス:

当団体／当法人において、貴機構が所有する「はやぶさ2」帰還カプセル等展示物の貸出しをお願いしたく、下記関係書類を添えて申請いたします。

記

1. 使用計画書

2. 会場の見取り図(会場のサイズがわかる平面図に、どのようなレイアウトで展示される計画であるのかをお示しください。その際に搬出入経路、出入口のサイズもご記入ください。)

3. 当団体／当法人の案内・概要書

(注記)「3. 当団体／当法人の案内・概要書」については、展示施設の業務内容・昨年度の年間入場者数等が分かる資料のご提示もお願いします。

【別紙 D】

使用計画書

1. 展示目的（イベント・展示会名称 等）

※イベント・展示会の概要がわかる企画書等のご提出をお願いいたします。

2. 展示物品名

☒ ☐ 基本セット

☒ ☐ 基本セット付属品

☐ その他（ご希望の場合、以下に展示物名をご記入ください。）

貸与の申込先：https://www.jaxa.jp/projects/pr/model/index_j.html（輸送費は別途かかります）

・
・
・

会場のサイズがわかる平面図に、どのようなレイアウトで展示される計画であるのかを別紙でお示しください。その際に搬出入経路、出入口のサイズもご記入ください。

3. 使用期間（【別紙 A】④の中から第3希望までご記入ください）

(1)第1希望： 年 月 日()～ 年 月 日()
うち展示期間 年 月 日()～ 年 月 日()

(2)第2希望： 年 月 日()～ 年 月 日()
うち展示期間 年 月 日()～ 年 月 日()

(3)第3希望： 年 月 日()～ 年 月 日()
うち展示期間 年 月 日()～ 年 月 日()

4. 展示場所

（会場名）

（住 所）

（連絡先）

☐ 展示・貸与・輸送等に関しては、【別紙 F】展示確認リストの諸条件を満たしている。

5. コロナ対策の考え方（博物館ガイドラインを参照しつつ、具体的な対策等をご記述ください。例として【別紙 G】をご参照ください。

6. その他特記事項（地域の特性を踏まえ、展示によりどのような層にどのようなメッセージを伝えようとしているのか、特に若い層への教育効果をどのように考えておられるのか、このようなポイントについて、あらためて記述していただくことを期待します）

以上

【別紙 E】

年 月 日

「はやぶさ2」帰還カプセル等展示物貸与に関する同意書

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 御中

(申請者)

名 称:

住 所:

代表者名:

取扱責任者名:

電話番号:

E-mail アドレス:

貴機構より「はやぶさ2」帰還カプセル等展示物について、下記の内容での貸与を受けるにあたり、貴機構が定める「「はやぶさ2」帰還カプセル等展示物貸与条件」を熟読の上、これを了解し、かつ遵守することに同意します。

記

1. 展示目的:

2. 展示物:

3. 貸与期間(展示期間及び前後の輸送・準備期間を含む):

年 月 日～ 年 月 日

うち、展示期間: 年 月 日～ 年 月 日

4. 展示場所:

(会場名)

(住 所)

以上

「はやぶさ2」帰還カプセル展示確認リスト

年 月 日

主催者

会場名

担当者

帰還カプセルを扱うにあたっては、世界で唯一のものであり、国民の貴重な財産であることを十分に認識の上、以下の対応を実施すること。

確認項目		確認欄	備考
		主催者	(状況・改善事項等)
共通条件			
1	主催者は、展示物の搬出入時に立会を行い、警備員を配置させること。また、搬出入導線上に段差、傾斜箇所がないか事前に確認を行い、振動対策を十分に行うこと。		
2	帰還カプセルは設置・搬出作業を含め、外部から見えないよう工夫・配慮すること。(展示場が「箱」の状態、場内が待ち列や出口から見えない状態であるか確認)		
3	設置場所の床面がじゅうたん等で振動・転倒の恐れがないか。また、設置場所の周りに落下、転倒の恐れがある物はないか十分に確認を行う。		
4	帰還カプセル展示ケースと来場者の間隔は1.5m以上とり、ロープ等で結界を設けること。		
5	帰還カプセルは、紫外線による劣化を防ぐため、直射日光を避けた状態で展示すること。(スポットライトも不可)		
6	【温度／湿度管理】 帰還カプセルは温度・湿度の変化を嫌うため、帰還カプセルを展示する場所は屋内とし、24時間の空調管理の下、設営時から展示期間中をとおして、下記の基準値を常に保つこと。 ◆温度【18℃以上～28℃以内】 ◆湿度【30%以上～70%以内】 なお、温室度チェックは、搭載電子機器・背面ヒートシールド等の各展示ケース内に設置された温室時計の値を基準とすること。基準値から外れた数値を示す場合は、速やかに展示室の空調設定の変更、乾燥剤交換・加湿対策を実施すること。		
7	【湿度管理の具体策】 ◆湿度が70%を超える(超える恐れがある)場合 各展示台(展示ケース下部)の内部に設置された容器に入れる乾燥剤(シリカゲル)を、展示台1台につき各600g＝5台3kg分を用意し、設置すること。 ◆湿度が30%を切る(切る恐れがある)場合 冬季の乾燥期など、加湿が必要となる場合には、濡れティッシュ1-2枚を入れた紙コップを上記の容器に入れて調整を行うこと。 ＜※＞取扱要領・【別紙B】を参照 ＜※＞必要な乾燥剤などは主催者側で準備すること。		
8	【温室度管理の定期チェック】 展示物設置期間中(24時間)、定期的に温湿度管理チェックを行うこと。なお、チェックは、「日中は1時間ごと」を原則とし、管理表に数値・状態等をまとめて記載する。この管理表は、主催者からメールにて、1日ごとに報告すること。(宛先:ISAS-KOUHO@ml.jaxa.jp)		
9	【展示物設置期間中の日々のメンテナンス】 ◆アースの確認 ◆展示ケースの清掃 埃・塵・ケースについた汚れ(指紋等)の拭きとりが必要になった場合の手順・ 厳重注意事項の認識を確認。 ●“水拭き／家庭用中性洗剤の使用”において、それぞれの方法・手順のチェック ●厳重注意事項の認識確認 ＜※＞取扱要領2(1)12項を熟読の上、手順・厳重注意事項を徹底する。		
10	【貸与展示物の撮影について】 見学来場者による展示物の撮影は一切禁止とする。会場内に写真、ビデオ等の撮影禁止の注意喚起をするための案内を設置すること。		
11	【貸与展示物の撮影について】 主催者の業務記録上必要な範囲での撮影、プレス公開および報道機関の撮影においては、来場者が見学をしている様子などに限り可能とする。【何れの場合においても、各展示物のズーム、フラッシュ撮影は厳禁とする。】 ＜※＞別途配布する“貸与展示における撮影時の禁止・注意事項”を熟読の上、対応すること。		
個別条件①【搭載電子機器部】			
1	搭載電子機器部は帯電防止を要するため、展示台付属のアース付きプラグを接続するアース付きコンセントを設置場所近くに確保すること。(状況に応じて、延長コードを用意すること)なお、アースコンセントがない場合は一般電気機器同様のアースを取ることを。(展示台付属のプラグコードは約2.5m) ＜※＞取扱要領・別紙1を参照		
2	雷に関する予報や注意報が発令された場合は、誘導雷を避けるためアースを抜くこと。		

【別紙F】

	警備条件		
1	原則として、展示会場に精通した警備業者を利用すること。(日頃から会場の警備を行っている業者が望ましい)		
2	24時間の警備体制とすること(夜間はカメラ監視やセキュリティシステムの対応も可)		
3	展示期間中(プレス公開等含む)は、展示物に来場者がアクセスしないよう、また、展示物の盗難や破壊に遭わぬよう、展示ケース付近に2名以上の監視員を配置し当てること。		
4	会場閉館後及び夜間は、施設等により外部から展示物に対するアクセスを排除し、その状態を常に監視し、何かあった場合には即座に対応できるよう、1名以上の巡回警備体制を取って警備に当たること。		
	総合確認		
1	【 緊急事態発生時の連絡体制・初動体制の確認 】 ◆JAXA／主催者それぞれについて、24時間、確実に連絡が取れる電話番号 他(携帯電話、メールアドレス)を緊急連絡先として登録し、期間中はお互いに所持すること。 →備考欄に記載 ◆問題発生時の速やかな報告 搬入設置～搬出までの期間中、展示物(帰還カプセル及びその展示ケース等)に目に見える異常・変化が生じたことが確認できた時点で、必ずJAXA事務局に一報を入れること。→備考欄に記載 また、合わせてその事象が生じた理由等を速やかに確認し、順次報告を行うこと。 JAXAは報告内容を整理し、主催者へ具体的な対応策等を指示すること。 ◆震災・災害等の発生時 1)見学来場者(お客様)・関係スタッフの身の安全を第一とし、避難等の初動対応を実施すること。 2)上記が整理できた時点で、JAXA事務局へ状況報告を入れること。 3)JAXAは報告内容を整理し、必要に応じて主催者へ具体的な対応策等を指示すること。 ※JAXA事務局も、ニュース等により各展示会場周辺で何かが発生した等の情報を得た場合、現場の状況を想定・勘案の上、適宜、主催者へ確認の連絡を入れること。		【緊急連絡先】 <JAXA事務局> 氏名：JAXA宇宙研広報／利岡 加奈子 TEL：070-1170-2731 E-mail：toshioka.kanako@jaxa.jp <主催者側> ①氏名： TEL： E-mail： ②氏名： TEL： E-mail：
2	上記各条件及び募集要項、取扱要領に示した諸条件を双方にて確認。貸与には“同意書提出”が必須である。		
3	本展示開催時の新型コロナウイルス感染症対策については、マスクの着用、検温、手指消毒、入場者の制限等、主催者が責任をもって実施する<博物館ガイドラインおよび各自治体の感染症防止対策を遵守のこと>。		
4	前後の展示会場になんらかの事情があり展示ができなくなったり展示期間の短縮があった場合、当初の貸与予定より前後約1週間、展示物を預かることができる。その場合のセキュリティ面では警備条件4を満たすこと。		
5	展示イベント終了後には、実施報告書を提出すること。提出時期は終了後2週間後を目安とする。報告項目例については、別途提示。		

【別紙 G】

新型コロナウイルス拡大防止の取組みについて（例）

本イベント開催にあたって、新型コロナウイルス拡大の状況を鑑み、対策として以下の点に重点的に取り組むこととする。

1. 感染症対策

「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン(公益財団法人日本博物館協会)」および各自治体の感染症防止対策遵守を徹底の上、本イベントを実施する。

(1) 入場者制限

- ・ カプセル公開時間を1時間毎に____分枠の入場時間で入れ替え制とし、1枠当たり____人以内の定員とする。
- ・ 1枠当たり定員以上の申込みがあった場合は抽選による。
- ・ 同時に展示室に入る人数は____人制限とする。

(2) 入館時チェックと対策

- ・ 検温し、発熱(37.5度以上)のある方は入館できない。
- ・ 手指消毒
- ・ 展示室内の定期的な消毒(毎日3回)、換気
- ・ 体験展示は休止
- ・ マスク着用

(3) 展示室見学時の対策

一人当たり5分程度の見学とし、展示室には管理者が立合い、以下を呼びかけることでソーシャルディスタンスを確保する。

- ・ 館内の見学は一方通行。
- ・ 前にいる見学者と十分な距離を保ち、立ち止まらずに見学。
- ・ 館内ではマスク等で口元を覆い、なるべく会話を避けて見学。
- ・ 期間中、館内での飲食厳禁。
- ・ 密集を避けるため、見学後はすみやかにご退館を促す。
- ・ 帰還カプセルの写真撮影は禁止(見学者滞留を防ぐ)。

以上